

Q&A 12

問 各家庭で意識を高めていくことが大事

森一芳議員

本町はゼロカーボンシティ宣言を出しており、その考え方を問う。地球規模で考えても脱炭素社会の構築は大事なことであり、しかし自然を壊してまでも再生可能エネルギー施設の構築は本末転倒ではないか。巨大風車建設予定地直下の各集落から反対の陳情や町内外の多くの住民からも署名が集まっており、香美市も同様である。町長にはこのような現状を鑑みて住民に寄り添った町政を願う。

下村賢彦町長

CO2の排出削減等については、再生可能エネルギーの推進も大切ではあるが、再造林や農地を守ることも、そしてまず家庭でできることとして、予算にも新たに計上している家庭用の太陽光発電に加え、住宅の断熱化やCO2の固定にもつながる薪ストーブへの補助などを通じて、各家庭で意識を高めていくこともゼロカーボンシティ宣言につながると思う。



平石 総務課長

令和3年に広範囲に防水工事を行っている。今年度は、3階女子トイレ等に対してクラック補修を行っている。現在雨漏りは発生していないが、再度確認し、シミ跡になっている天井の修繕を行う計画である。

三谷よし恵議員

1階トレーニングルームは、令和3年からフレイル予防活動、健康マージャン等利用頻度が非常に多くなっている。入り口、バリアフリートイレの自動ドアが故障している。また、女性用トイレは和式、洋式で各一つしかない。これから事業を続けるには、修繕が必要でないか。

下村賢彦町長

トレーニングルーム入り口の自動ドアについては、すでに担当課に指示をしている。トイレについても、今後検討していく。

三谷よし恵議員

ふれあいセンターの倉庫は3階にあるだけで、1階旧クアハウスの更衣室やプールに災害備蓄品等の荷物が雑然と置かれているが、棚などを設置し倉庫として荷物を整理するべきでないか。

また、フレイル予防活動の参加者が増えてトレーニングルームが手狭になっているが、改修し拡張すべきではないか。

下村賢彦町長

更衣室を倉庫として使用しているが、整理して管理すべきと考える。プールの利用については、2階部分までの吹き抜けで川手は全面ガラス張りになっており、太陽光の遮断等考えなければならぬ。仮設の棚を組むことは問題ないと思う。

三谷よし恵議員

トレーニングルームの拡張については、参加者からも話を聞いている。法令上の制約もあるので、慎重に精査したうえで判断していきたい。

多目的ホールの音響については、以前から非常に問題になっている。施設の構造上、改善できない部分もあるが、ポータブルデッキでの対応が比較的聞こえやすい。再度、業者に確認してもらい、修理で対応可能か判断してもらう。ホールの机については、対応を考える。



完成から四半世紀が過ぎた総合ふれあいセンター

Q&A 13

問 総合ふれあいセンターの改修について改善を検討し努力する



三谷よし恵 議員

ふれあいセンターの雨漏りについて、7年前にも質問しているが、その後改善されているのか。

Q&A 14

問 国見山風力発電について 事業主体の事業者がどう捉えるか



山崎悦子 議員

2月1日に国見山に調査登山を行った山梨大学名誉教授の鈴木猛康先生によると、四国の中心を通っている中央構造線は、変成岩とていつはがれやすい片理岩でできている。国見山は、大地滑りの地形であると言われた。その上に広葉樹が成長をすることで、広葉樹の

細かい根が間へ入ってこの岩盤を抱えて地滑りが進まないようになっていく。中に水を蓄えることで大きな水瓶の役割を果たしている。ここで時間をかけて濾過された水が栄養豊富な綺麗な水で、それがおいしい米ができるもととなっている。広葉樹は、大きくなるのに100年以上の時間がかかり、一度崩れたら同じ森には戻らない。その岩盤は少しずつ時間をかけて崩落をする。開発をして木を伐つてしまつと50年で土砂崩れが起こってしまうだろう。工事に耐えられる地形かをボーリング調査をして調べる必要があるが、お金がかかる。事業者は、因果関係がはっきりと分かったら補償をするという。国見山風力発電は、建設予定が12基だが大豊町に何基と聞いているのか。固定資産税は、どれぐらいと試算をしているのか。

山崎悦子議員

現在国見山は伐採の工事が始まっており、木は伐られている。問題は保安林解除。林野庁が令和7年4月に作ったマニュアルでは、解除により損なわれる森林の機能を確保する具体的な取り組み等が全て要件を満たす必要がある。大切な地元をよく知る首長の判断である。この保安林の解除については本町では何か検討しているか。

下村賢彦町長

保安林解除については、住民等々の特段の意見がなかったので「意見なし」と回答。解除に反対するという意思を表明するものではない。

山崎悦子議員

風車は建築基準法にかからない。外部の電力がない

山崎悦子議員

崩れやすい岩盤を切り取って無理に造成をするので、大きな災害にはならないことを願う。

2月26日に本山町で国見山の風力発電を止める会が、高知県と本山町に対し



下村賢彦町長

大豊町分には5基と聞いて

